

CHAPTER 5

HTML,CSS基礎（2）

- 「UAスタイルシート」を打ち消したり、“いい感じ”に調整したりするテクニック
- “いいかんじにする” NormalizeCSS
- “完全にリセットする” resetCSS
- CDN (Content Delivery Network)の利用



<https://meyerweb.com/eric/tools/css/reset/>

Destyle.css

Opinionated reset stylesheet that provides a clean slate for styling your html.

Features

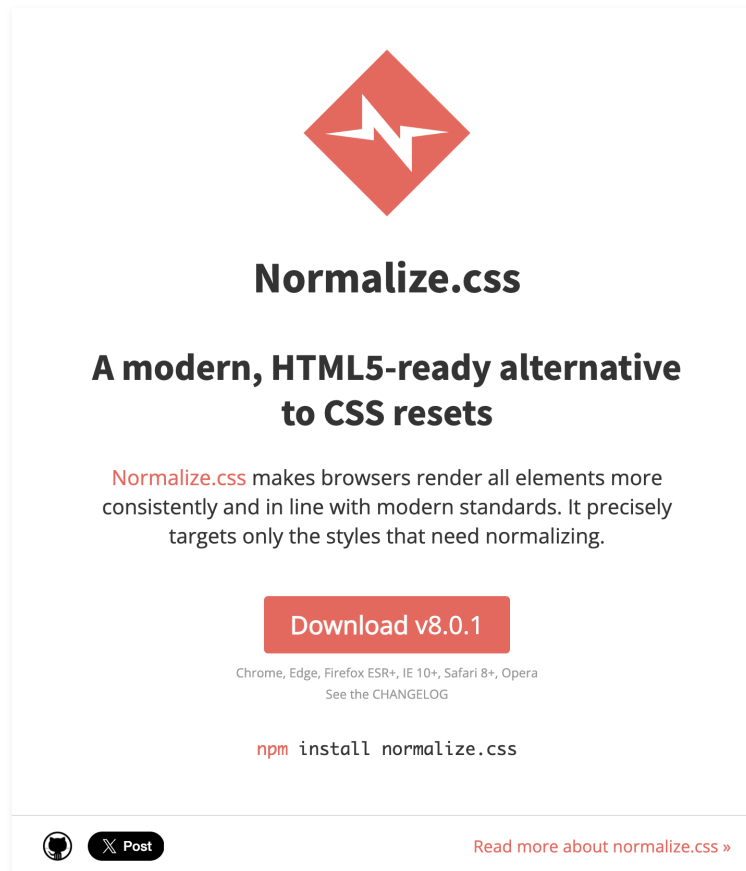
- Ensures consistency across browsers as much as possible
- Prevents the necessity of resetting user agent styles
- Prevents style inspector bloat by only targeting what is necessary
- Removes margins & paddings
- Removes default font styles and ensures proper inheritance
- Contributes to the separation of presentation and semantics
- Sets sensible default styles (see [docs](#))
- Well suited for utility class libraries and large codebases
- Made for modern browsers only, therefore small in size (~0.95kb)

Get it

- `npm install --save destyle.css`
- [CDN](#)
- [Download](#)

[See it in action](#)[View on GitHub](#)

```
<link rel="stylesheet" href="https://cdn.jsdelivr.net/npm/destyle.css@1.0.15/destyle.css"/>
```



```
<link rel="stylesheet" href="https://cdnjs.cloudflare.com/ajax/libs/normalize/8.0.1/normalize.min.css"/>
```

■ ブラウザ間の差異を均一化する

(フォントなどは別途指定が必要、Safariがゴシック体になるとかではない)

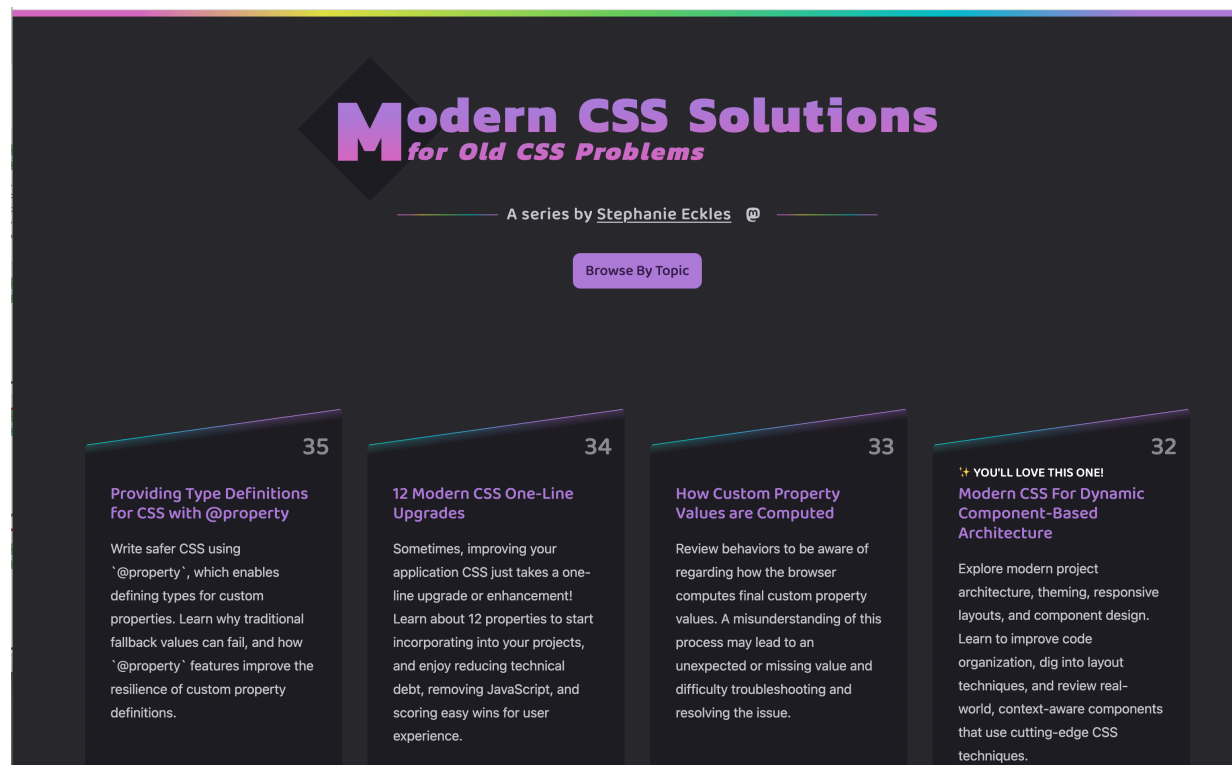
■ リストのパディングとマージン

■ ボーダーの見た目

■ ボタンやマージンのサイズなど

01

リセットCSS,ノーマライズCSS ③modern.css



<link rel="stylesheet" href="https://unpkg.com/modern-css-reset/dist/reset.min.css"/>

- ボックスモデルの復習
- `display: flex` (Flexbox) を使った横並びのレイアウト
- Flexboxは要素を一行に並べる

HTML

```
<div class="wrap-flex">  
<div class="item">Flex item</div>  
<div class="item">Flex item</div>  
<div class="item">Flex item</div>  
</div>
```

CSS

```
.wrap-flex { display: flex; }
```

HTML

```
<div class="container">  
<div class="box"></div>  
</div>
```


CSS

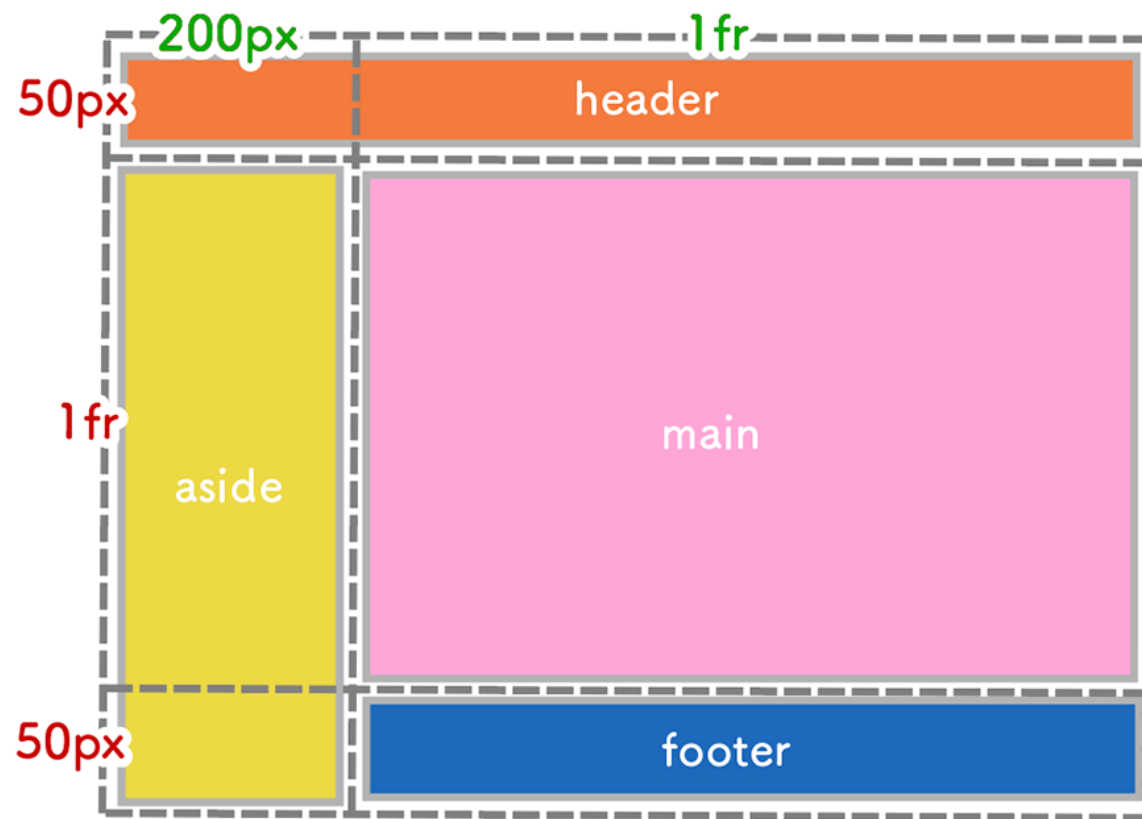
```
.container {  
  border: 2px solid #1b0303;  
  box-sizing: border-box;  
  width: 100%;  
  height: 300px;  
}
```

```
.box {  
  background-  
    color: #f53838;  
  width: 300px;  
  height: 200px;  
}
```

↓追加してみよう

```
.container {  
  display: flex;  
  
  justify-content: center;  
  align-items: center;  
}
```

- `display:grid`
- Gridでは行と列の格子状にレイアウトを定義する必要がある
- 基本はまず横方向のみでOK  `grid-template-column`
- 縦方向に制御したい場合は  `grid-template-rows`



grid-template-columns

120px 200px 300px;



grid-template-rows

150px

80px

HTML

```
<div class="wrap-grid">

  <div class="item">Grid item 1</div>

  <div class="item">Grid item 2</div>

  <div class="item">Grid item 3</div>

  <div class="item">Grid item 4</div>

  <div class="item">Grid item 5</div>

</div>
```

CSS

```
.wrap-grid {

  display: grid;

  grid-template-columns: 1fr 1fr;

  gap: 10px;

  width: 400px; border: 2px solid
  #00a0e9; padding: 10px; }

.item { /*見た目に関する部分*/

  background-color: #e6f7ff; border:
  1px solid #00a0e9; padding: 10px;
  text-align: center; }
```

■ grid-template-columns: 1fr 1fr; の意味と役割

Gridコンテナの列（Columns）の数とそれぞれの幅を定義するために使われる

「fr」はGridコンテナ内の利用可能な残りのスペースを分割する比率のこと

grid-template-columns: 100px auto 1fr; /*3列を定義*/

1列目

2列目

3列目

03

レイアウトのためのCSS ② Grid

単位	意味	動作	主な用途
fr	残りの利用可能な スペースの比率	コンテナ幅に合わせて 均等に幅が変化する (レスポンシブ)	等分割レイアウト (50% / 50% など)
auto	コンテンツの量に応じて 幅が決定される	コンテンツの幅を優先 的に取り、残りのス ペースを分配する	サイズの決まっていな いサイドバーやメイン コンテンツ

両者＋絶対値（●●pxなど）を組み合わせるのがセオリー

display:プロパティの基本の値6種類

1. block⇒要素が横までいっぱいに広がり、縦に並んでいく
2. inline⇒要素が平ぺったく横に並んでいく
3. inline-block⇒blockとinlineの中間（ざっくり言うと）
4. none⇒非表示になる
5. flex⇒フレックス化
6. grid⇒グリッド化

display:blockの特徴

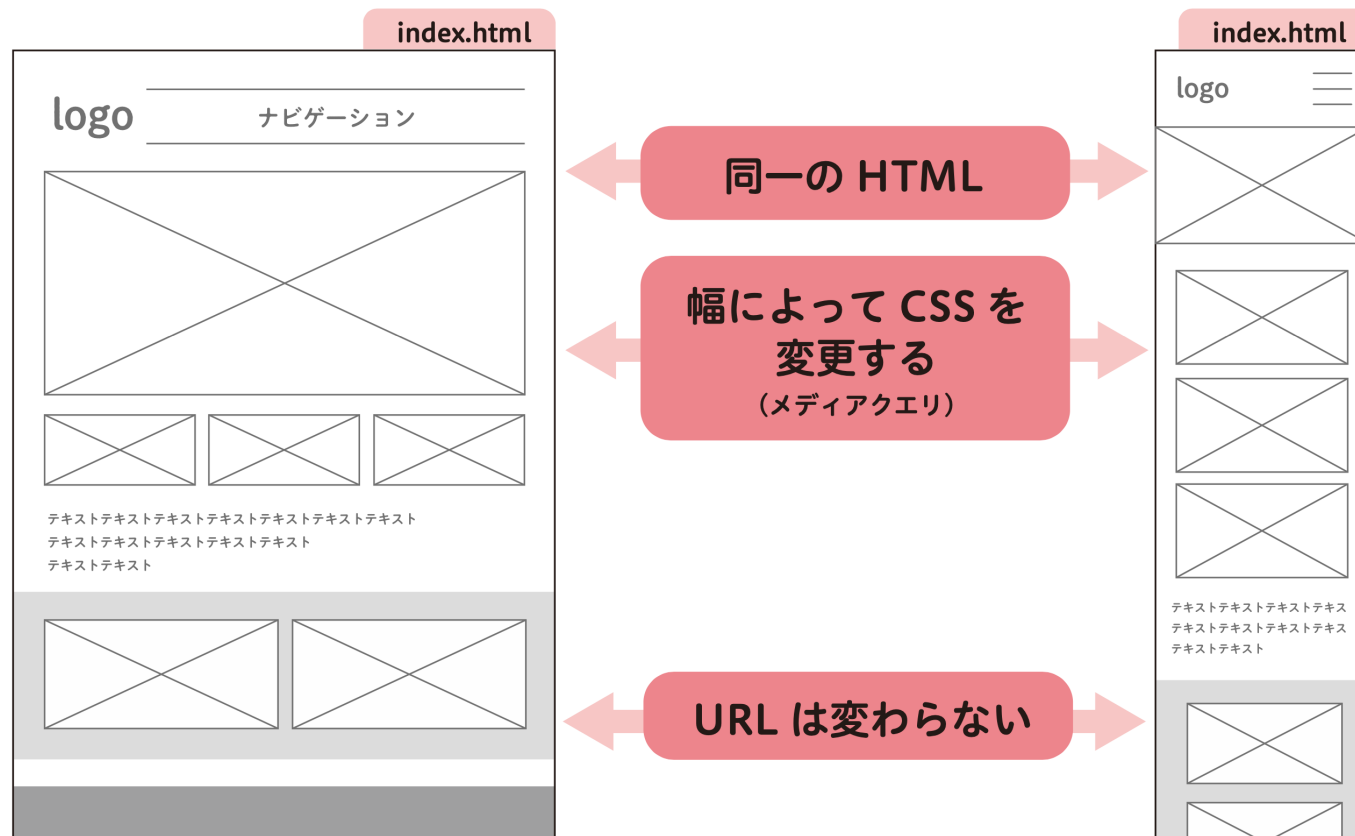
- 縦に積まれていく
- 幅 width と高さ height が指定できる
- デフォルトCSSでは上下に余白ができる
- marginとpaddingを指定できる
- text-align は要素の中身に適応される
- vertical-align は指定できない

display:inline;の特徴

- 横に並んでいく
- 幅 width と高さ height は指定できない。内容物のサイズで大きさが決まる
- 左右だけ margin を指定できる
- 左右に padding を指定できる（実は上下も指定できるけど、前後の行や要素にかぶってしまうので、あまり効果はわからない）
- text-align を親ブロックに付けることで揃えを指定できる
- vertical-align を指定できる

- レスポンシブ（RWD）
- アダプティブ
- レスポンシブデザインのほうが実装難易度が高い

レスポンスウェブデザイン



- メディアクエリ
- 2つのピクセル（デバイスピクセル / CSSピクセル）
- ビューポート

■ 横幅を元にデザインを切り替える CSS のメディアクエリ

● メディアクエリの例 (CSS)

```
body{color:red;}
```

```
@media (max-width: 800px) {
```

```
body{color:pink;}}
```

```
@media (max-width: 450px) {
```

```
body{color:orange;}}
```

(**max**-width: xxxpx) = 最大幅

もしくは

(**min**-width: xxxpx) = 最小幅

と記述する

■ 切り替わる数値を「ブレイクポイント」と言う

■ モバイルファーストの書き方

/* 1. まずモバイル（最小幅）のスタイルを記述する */

```
body { color: orange; }
```

/* 2. 次にmin-widthを使って、画面を大きくしていく */

```
@media (min-width: 451px) {
```

```
  body { color: pink; } /* タブレットサイズになったら変更 */
```

```
}
```

```
@media (min-width: 801px) {
```

```
  body { color: red; } /* PCサイズになったら変更 */
```

```
}
```

■ カンプはどちらから作る？→どちらでもOK

■ まとめ

単位	意味	主な用途
max-width	最大幅（この幅以下で適用）	PCファースト（大きい画面から小さい画面へ）で使われる。
min-width	最小幅（この幅以上で適用）	モバイルファースト（小さい画面から大きい画面へ）で使われる。 推奨されるアプローチ。

- 画面解像度を示す「デバイスピクセル」
- 同じサイズで表示できる「CSSピクセル」
- デバイスピクセルとCSSピクセルの 比率を示した
デバイスピクセル比

RWDのための3つの用語 - 2つのピクセル

iPhone 15 Pro

概要 AndroidからiPhoneへの乗り換え 仕様 購入

ディスプレイ



6.1インチ

Super Retina XDRディスプレイ
6.1インチ (対角) オールスクリーン
OLEDディスプレイ
2,556 x 1,179ピクセル解像度、
460ppi

iPhone 15 Proのディスプレイは、美しい曲線を描くように四隅に丸みを持たせてデザインされており、標準的な長方形に収まります。標準的な長方形として対角線の長さを測った場合のスクリーンのサイズは6.12インチです (実際の表示領域はこれより小さくなります)。



6.7インチ

Super Retina XDRディスプレイ
6.7インチ (対角) オールスクリーン
OLEDディスプレイ
2,796 x 1,290ピクセル解像度、
460ppi

iPhone 15 Pro Maxのディスプレイは、美しい曲線を描くように四隅に丸みを持たせてデザインされており、標準的な長方形に収まります。標準的な長方形として対角線の長さを測った場合のスクリーンのサイズは6.69インチです (実際の表示領域はこれより小さくなります)。

iPhone 14 & 15 Pro - 1

デザイン プロトタイプ

フレーム

▼ スマホ

iPhone 14 & 15 Pro Max	430 × 932
iPhone 14 & 15 Pro	393 × 852
iPhone 13 & 14	390 × 844
iPhone 14 Plus	428 × 926
iPhone 13 mini	375 × 812
iPhone SE	320 × 568
iPhone 8 Plus	414 × 736
iPhone 8	375 × 667
Android(小)	360 × 640
Android(大)	360 × 800

▶ タブレット

▶ デスクトップ

▶ プレゼンテーション

こちら（設定あり）

と

こちら（設定なし）

を携帯で見比べてみましょう



設定あり



設定なし



サンプルテキスト
ト (50px)

サンプルテキスト
ト (48px)

サンプルテキスト
ト (46px)

サンプルテキスト



サンプルテキスト (50px)

サンプルテキスト (48px)

サンプルテキスト (46px)

サンプルテキスト (44px)

サンプルテキスト (42px)

サンプルテキスト (40px)

サンプルテキスト (38px)

サンプルテキスト (36px)

サンプルテキスト (34px)

サンプルテキスト (32px)

サンプルテキスト (30px)

サンプルテキスト (28px)

サンプルテキスト (26px)

サンプルテキスト (24px)

サンプルテキスト (22px)

サンプルテキスト (20px)

サンプルテキスト (18px)

サンプルテキスト (16px)

サンプルテキスト (14px)

サンプルテキスト (12px)

サンプルテキスト (10px)

サンプルテキスト (8px)

サンプルテキスト (6px)

サンプルテキスト (4px)



表示はデバイスピクセル比で違います
iPhone10で見えています

- 「設定」とは
- HTMLのviewport（ビューポート）指定
- viewportを設定することでデバイスピクセルではなくCSSピクセルでサイトが表示される
 - CSSピクセルで表示させるためのmetaタグの指定

```
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1">
```

CHAPTER 7

Web制作のワークフロー サーバー・ドメイン基礎

01

Webの色表現と書き出し形式

- ディスプレイでの表現はRGBを使用する
- ディスプレイによって変わる表示
- カラーコードの種類

- Hex

#000

#000000

- RGB

rgb(0, 0, 0);

- RGBa

rgb(0, 0, 0, 0.5);

※ a → アルファ（透明度）

01

Webの色表現と書き出し形式

- PNG,JPGを基本とする
- ファイル名は半角英数字を使用
- SVGのメリットと書き出しの注意点、デモ
- webP, AVIF

01

Webの色表現と書き出し形式

- 書き出す画像には「カラープロファイル」を埋め込む
- sRGB
- Display P3

- 文字のサイズ（本文のサイズ）はいくつを使用すべきなのか？

- 標準は16px

- 10px以下は可読性が損なわれる

10px：一般的なモニタでの表示サイズでは7～8pt（2～3mm）相当の大きさ

- 絶対的な固定値であることのデメリット
レイアウト全体や文字サイズをユーザーの
ニーズに合わせて柔軟に調整できない
- レスポンシブ対応の手間（PCでは20px,スマホでは18pxなど）



そこで（基準のPixelを持ちつつ）別の「相対的な」単位を用いる

- 「em（イーエム）」は、親要素のフォントサイズに対する相対単位 1emは親要素のフォントサイズと等しくなる
- 親の親の...と連鎖するとかかなり複雑になる



これを解決するのが、「rem（レム）」

- 「rem（レム）」は、ルート要素（<html>タグに指定されているフォントサイズ）が基準になる
- 基準が一定なので計算が簡単
- レスポンシブとアクセシビリティに配慮

- 1remが10pixelになるようにするテクニックがよく使われる

```
html { font-size: 62.5%; }
```

1.6rem : 今は16pxの値だが、環境に応じて柔軟に変化する

16px相当の値

16px : 16 pxから動かない値

- vh と vw は、ブラウザのビューポート（画面表示領域）のサイズを基準とする相対単位
- `width: 50vw;` と指定すると、要素の幅は画面幅のちょうど半分（50%）になる
- 100% は親要素のサイズを基準とするのに対し、vh/vw などの単位は、ブラウザの表示領域全体（ビューポート）が基準となる

04

画面や要素の幅を示す単位

単位	名称	意味	主な用途
svh / svw	Small Viewport	最小の安定したビューポートサイズ（URLバーが表示されている状態）を基準とする。	スクロール中にアドレスバーが消えても、レイアウトが崩れないようにしたい場合に使う。
lvh / lvw		最大のビューポートサイズ（URLバーが非表示の状態）を基準とする。	画面全体を最大限利用したい場合に使う。
dvh / dvw	Dynamic Viewport	スクロールに応じて動的に変化する実際のビューポートサイズを基準とする。	常に画面のサイズにぴったり合わせたい場合に使う。

04

画面や要素の幅を示す単位

```
<div class="key-visual-container">  
    
</div>
```

```
.key-visual-container {  
  height: 100dvh;  
  width: 100vw; /* 幅は画面幅全体に固定 */  
  overflow: hidden; /* はみ出た画像部分を隠す */  
}
```

```
.key-visual-container img {  
  width: 100%; height: 100%; /* 画像のアスペクト比を保ちつつ、コンテナ全体を覆うように拡大 */  
  object-fit: cover;  
}
```

タイポグラフィのこだわりはどこまで？

	指定箇所	CSS 例
行間	<u>Web の技術でできる</u> <u>タイポグラフィ</u>	line-height:
文字間	Web の技術でできる タイポグラフィ	letter-spacing:
文字サイズ	W eb の技術でできる タイポグラフィ	font-size

タイポグラフィのこだわりはどこまで？

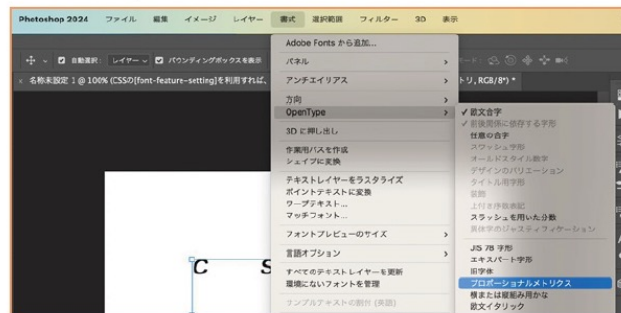
OpenTypeフォントにfont-feature-settingsを適用する

CSSで自動カーニングを有効化した場合の表示

【自動カーニング有効】CSSの[font-feature-setting]を利用すれば、OpenTypeフォントならWebでもプロポーショナルメトリクスを有効化できる。

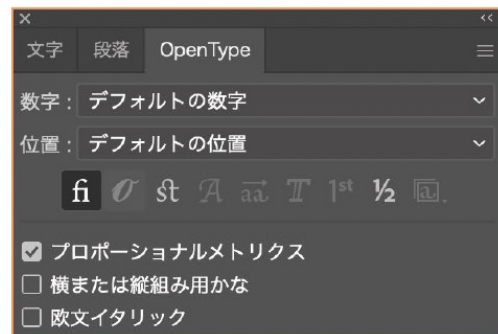
【自動カーニング無効】CSSの[font-feature-setting]を利用すれば、OpenTypeフォントならWebでもプロポーショナルメトリクスを有効化できる。

Photoshopのプロポーショナルメトリクスの設定



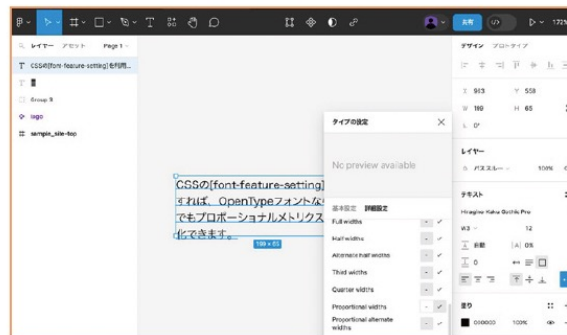
[書式]メニュー→[OpenType]→[プロポーショナルメトリクス]

Illustratorのプロポーショナルメトリクスの設定



[OpenType]パネルから設定

Figmaのプロポーショナルメトリクスの設定



[タイプの設定]→[詳細設定]→[Proportional widths]

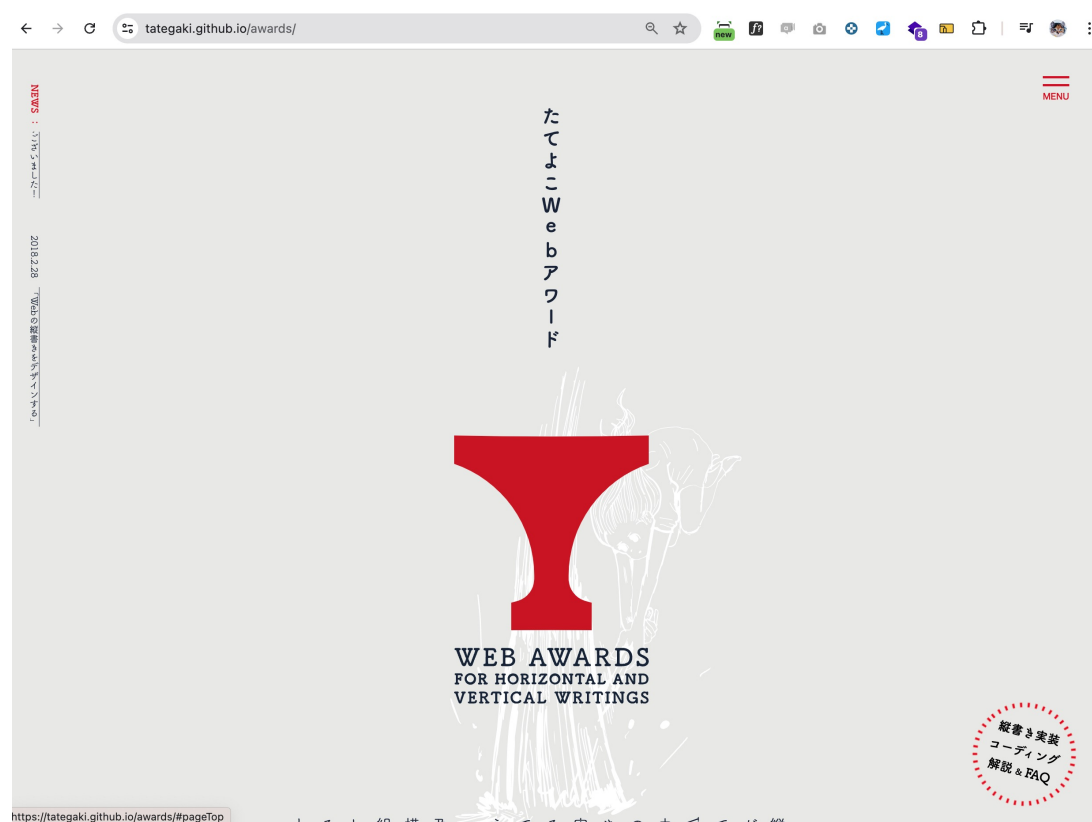
- Webサイトに明朝体が少ない理由
- 明朝体は使えないのか
- 余談：縦書きは使えないのか？

- CSSのwriting-modeプロパティ

```
h1 {  
  writing-mode: vertical-rl;  
}
```

あ泳 あ泳

参考資料：<https://www.adobe.com/jp/creativecloud/design/discover/web-fonts.html>



参考資料：たてよこWebアワード <https://tategaki.github.io/awards/>

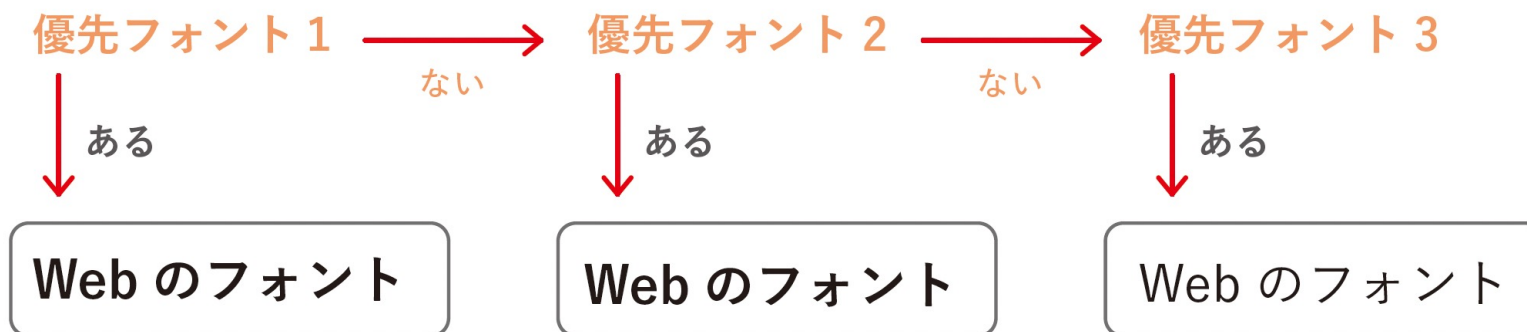
- デバイスフォントを指定する
- Webフォントを指定する
- どちらもCSSのfont-family:プロパティで指定する

- CSSのfont-familyプロパティ

```
body {  
  font-family: "MS Pゴシック";  
}
```

■ デバイスフォントの表示の仕組み

優先フォント 1 優先フォント 2 優先フォント 3
font-family: "ヒラギノ角ゴ ProN", "遊ゴシック", sans-serif;



■ デバイスフォントの表示の仕組み

```
font-family: "Futura", "ヒラギノ角ゴ ProN";
```

優先フォント 1

優先フォント 2

優先フォント 1

優先フォント 2

最終的な表示

↓
英数字はある

↓
日本語もある

Web のフォント

Web のフォント

Web のフォント

■ Webフォントを使わない場合、OSに無いフォントは表示されない

OS	デフォルトで入っている書体の例	フォントを確認できるURL
macOS	ヒラギノ角ゴシック、ヒラギノ明朝、游ゴシック、游明朝	https://support.apple.com/ja-jp/103197
Windows	メイリオ、游ゴシック、游明朝	https://learn.microsoft.com/en-us/typography/fonts/windows_11_font_list
iOS	ヒラギノ角ゴシック、ヒラギノ明朝	https://developer.apple.com/fonts/system-fonts/
Android 6.0以降	Noto Sans CJK	なし

■ 特定のフォントを使いたいときはWebフォントを利用する

- Webサイトのデータなどと同様にネットワーク上にフォントデータを設置し、そこにアクセスすることで様々な環境でも同じフォントが利用できる仕組み

- Google Fonts

- Adobe Fonts

- FONT PLUS

- モリサワ TypeSquare

- フォントデータを自社のサーバーに格納する方式と
CDNで利用する方式がある
- 必要な文字だけを抽出するサブセット化

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

the WORLD

全ての文字を読み込むので重くなりやすい



abcde**fg**hijklmnopqrs**t**uvwxyz
ABC**D**EFGHIJK**L**M**N**O**P**Q**R**STUV**W**XYZ

the WORLD

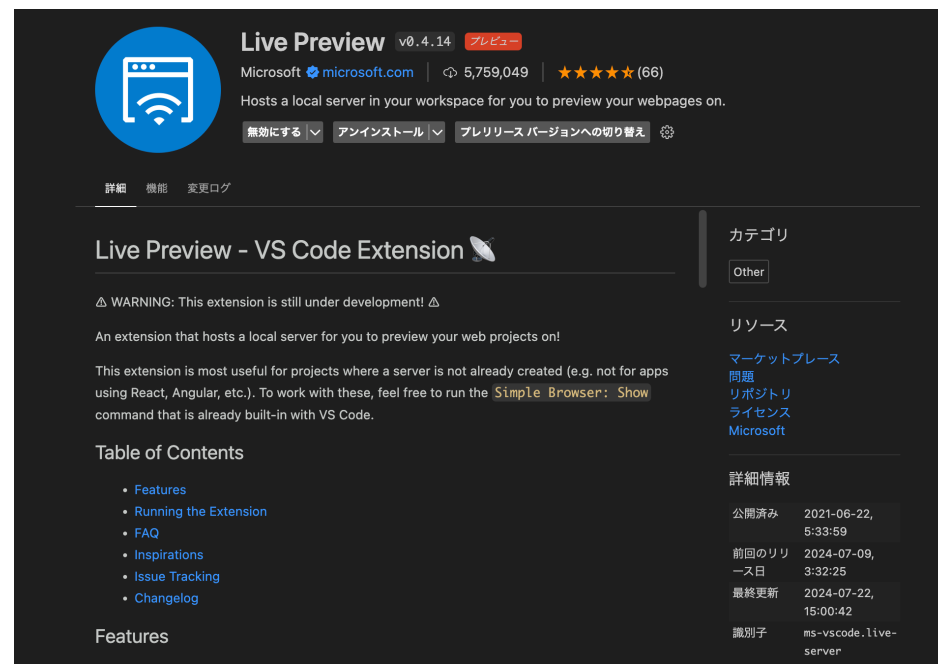
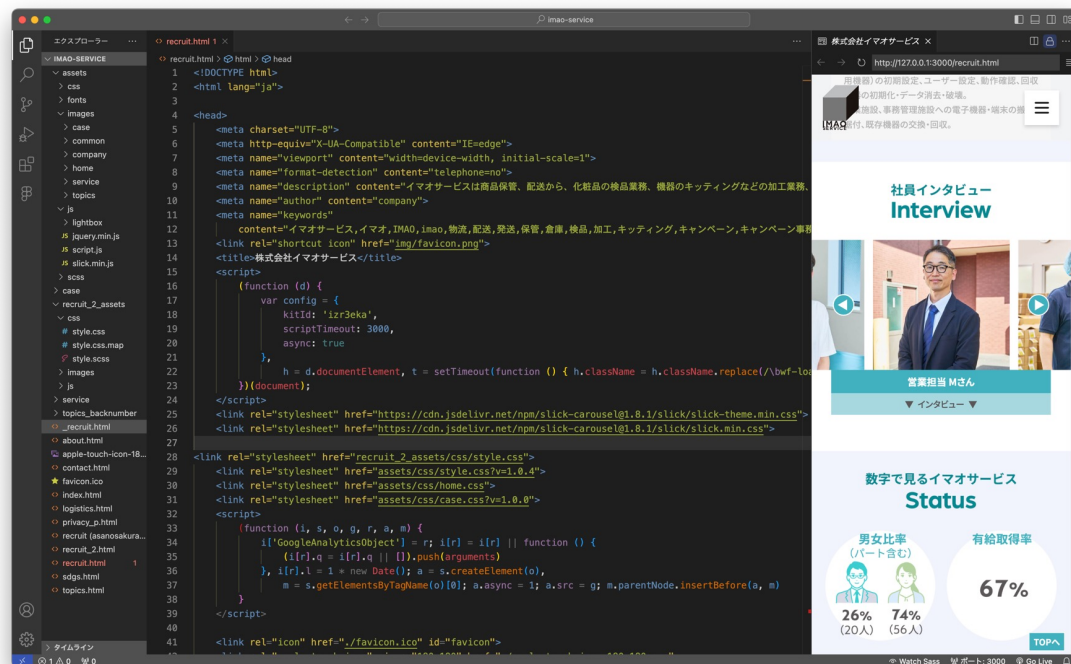
必要な文字だけを抽出するので軽くなる

■ PHPを使った共通要素のインクルード（読み込み）

1. headerを用意して、headerだけをheader.phpにする
2. index.htmlをindex.phpにする
3. Index.php内に<?php include 'common/header.php'; ?>等と記述

11

検証（確認）する



11

検証（確認）する

The image shows a web browser window displaying the recruitment page for IMAO Service, with the URL `imao-service.com/recruit_2.html`. The page features a blue header with the IMAO logo and navigation menu, followed by a large blue section with the text "新しいこと、やろう。" and "IMA O". Below this, there is a section titled "前職はなんでもOK。" and "イマオサービスの流通加工は、世の中の商品が売れていく仕組みをウラから見られる、ちょっとおもしろい仕事です。" and "今までの毎日を新しくするヒント、見つかるかもしれませんよ。". At the bottom, there is a section titled "イマオサービスの仕事とは？" and "About IMAOSERVICE".

Overlaid on the right side of the browser window is the DevTools interface, showing the "Elements" panel with the HTML structure of the page. The selected element is a `div` with the class `logo`. The "Styles" panel shows the default browser styles for the `div` element, including `margin: 0;`, `padding: 0;`, `border: none;`, `list-style: none;`, `display: block;`, `unicode-bidi: isolate;`, `font-family: 'Noto Sans JP', sans-serif;`, `font-size: 13.1282px;`, `height: auto;`, `justify-content: center;`, `list-style-image: none;`, `list-style-position: outside;`, `list-style-type: none;`, `margin-bottom: 0px;`, `margin-left: 0px;`, `margin-right: 0px;`, `margin-top: 0px;`, `padding-bottom: 0px;`, `padding-left: 0px;`, `padding-right: 0px;`, `padding-top: 0px;`, `unicode-bidi: isolate;`, and `width: auto;`.

The "Console" panel at the bottom shows the "New" button and the "Console" tab, indicating that the page is being tested or debugged.

- サーバーが必要

「実際のサイト」の他に「検証環境」があると良い

- FTPアプリでのアップロード

- SSH (Secure Shell) を使ったアップロード

- レンタルサーバーから提供されるアドレス（URL）とは別に独自のアドレス＝ドメインを紐づける
- この作業を指してDNSの設定という
- 小規模なサイト向けのレンタルサーバーであれば高度な知識は不要

Other CHAPTER

コーディングに困るデザインデータ

01

背景として実装するなら「元素材」が必要

- 画像を使った背景プロパティでは「元の素材」を一緒に渡す
- 繰り返しのパターンをbackgroundプロパティで実装する場合
- リキッド画像をbackgroundプロパティで実装する場合

- 「ちょっと違うグラデーション」を作らない
- Figmaのスタイル機能、バリエーション機能を活用する

■ Webの「字切り」は万人の環境で同一の表示ができない

デザイナーの意図する改行

Web サイトの特性としては、閲覧者側の要因によってデバイステキスト部分の `
` フォントサイズが変化します。

環境によって変化する場合も

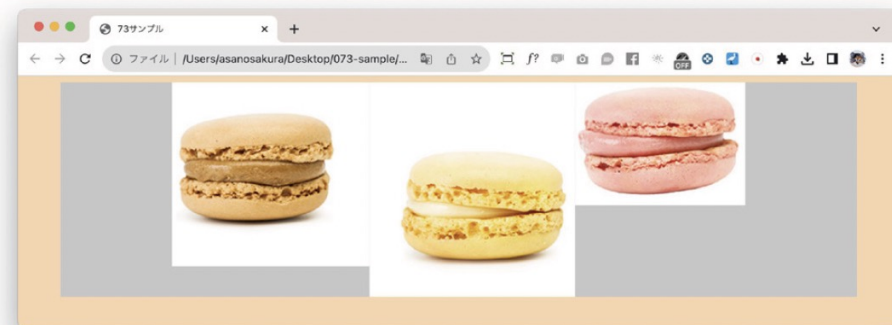
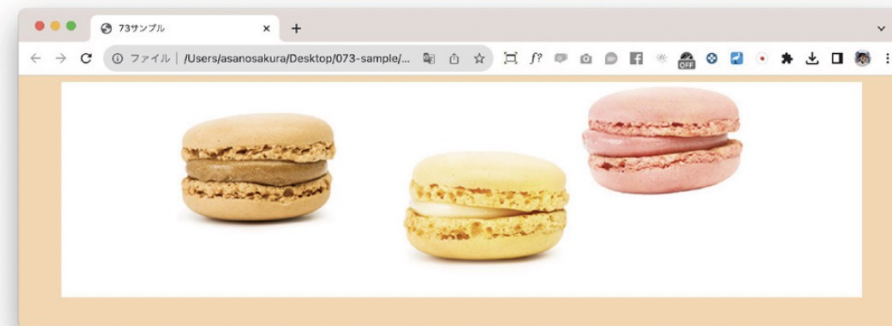
Web サイトの特性としては、閲覧者側の要因によってデバイステキスト部分の `
` フォントサイズが変化します。

- 実務におけるレスポンシブウェブデザインでの改行対応
- 字切りをしたい場合とその対応

04

謎の余白を作らない

- 「CSSが苦手」で画像に余白を持たせるとCSSが複雑になる



- デザインの案？状態の変化？明確に指示を入れる
- Figmaのページ機能を活用してもOK
- 元の素材データの管理はしっかりと。シェアは場合により

- リリース後のコンテンツの増減によって崩れやすい見た目
- 文字数の問題、数の問題

- インタラクションをつける理由と注意点
 - インタラクションはユーザに行動を喚起させる
- 動かすことのデメリットも考慮する
- インタラクションの伝え方
 - 参考例を見せる / アプリで共有する / 完全にお任せする